

## ステークホルダー・エンゲージメント

国内外の各事業所・グループ会社において、従業員一人ひとりが「良き企業市民」としてステークホルダーと協同でCSRを推進しています。

### 社会貢献活動

#### 森林保全活動（FJFS：群馬県前橋市）

FJFSでは、群馬県および前橋市と「森林整備等の活動に関する協定書」を締結し、2008年度から継続して、森林づくり活動を赤城山麓の嶺公園で年2回実施しています。

新型コロナウイルス流行に伴う感染予防のため一時休止となりましたが、2023年度から活動を再開しました。

なお、2022年1月には、長年の当取り組みが評価され、令和3年度 群馬県環境賞顕彰「環境功績賞」を受賞しています。



草刈り



記念撮影

**13** 気候変動に  
具体的な対策を

**15** 陸の豊かさも  
守ろう

#### 植樹活動（FDTP：フィリピン）

FDTPでは、同社が工場を置くラグナテクノパークの他企業とともに、地域の学校支援や環境保全活動などに取り組んでいます。

2022年度は、それらの活動の一つとして、森林減少問題を抱えるラグナ州のカリヤヤ・ルモット流域において、失われつつある自然環境の回復を目的に植樹活動を実施しました。



作業開始前のアナウンス



植樹の様子

**13** 気候変動に  
具体的な対策を

**15** 陸の豊かさも  
守ろう

### コミュニケーション

#### 新入社員へのSDGs教育

当社グループでは、全従業員が対象の環境eラーニングを毎年行うなど、従業員へのSDGsに関する意識啓発に注力しています。

2023年度は、従業員が入社時からSDGsを自分事として捉えて業務に取り組めるよう、新入社員研修のカリキュラムの一つとして、SDGsに関する教育も実施しました。

当教育では、当社のSDGs担当が講師を務め、オリジナル教材を用いてSDGsの概要から当社グループの活動とSDGsとのかかわりまで説明。最後に、各々の配属先において、自らの業務を通じていかにSDGsへ貢献していくか考え実践することの重要性を語り、締め括りました。

**1. SDGsとは** FUJITSU

【人類が直面している重要課題】

環境 - 気候変動・自然破壊・環境汚染・資源枯渇・生物多様性等.

社会 - 貧困・飢餓・人権・紛争と戦争・パンデミック etc.

経済 - 技術革新・経済不況・生産性向上・働きがい・完全雇用 etc.

これら課題をトータルで解決し「持続可能な環境・社会・経済」を実現するため、SDGs（17の目標、169のターゲット、232の指標）が国際社会の共通目標として国連で採択された。

**重要キーワード：**  
「誰一人取り残さない（貧困撲滅）」、「2030年」「世界の変革」、「富強連携」

教材の事例①

**2. 17のゴールについて** FUJITSU

【17のゴールと主なキーワード、そして5つのP】

1 貧困	2 飢餓	3 豊か	4 働きがい	5 経済成長
6 きれいな水	7 エネルギー	8 持続可能な	9 産業と	10 人や国の
11 住みやすい	12 持続可能な	13 気候変動	14 海の豊かさ	15 陸の豊かさ
16 平和と	17 パートナ			

5つのP: ①People (人) ②Prosperity (豊かさ) ③Planet (地球) ④Peace (平和) ⑤Partnership (連携)

教材の事例②

#### 三条市立大学様における産学連携実習の実施

当社は、三条市立大学様（新潟県三条市）と産学連携に係る協定を締結しています。その一環で、2022年9月～11月の期間中、当社新潟工場で同校から産学連携実習の学生を受け入れました。

本実習は、学生が燕三条地域の企業の現場に赴き企業での体験型・経験型の学修と学内における理論の学修を結び付け、より実践的・実用的な工学知識・技術・倫理観を学ぶことを目的としています。

当社新潟工場の実習では、工場の品質保証の取り組み、製品の内部構造や製造プロセスのレクチャー実際の製品を用いた検証作業などを体験しました。



産学連携実習

**4** 質の高い教育を  
みんなに

**8** 働きがいも  
経済成長も